

「国際化学オリンピック」を知っていますか？

皆さん、「国際化学オリンピック」を知っていますか？「国際化学オリンピック」は、世界60か国以上から250人以上の高校生が集まり、化学の実力を競う世界大会です。毎年7月に開催され、会期は10日間に及びます。今年は韓国・慶山で第38回大会が行われました。日本からは、今村麻子さん(神戸女学院3年)、田中成くん(開成高2年)、永田利明くん(開成高3年)、服部陽平くん(筑波大駒場3年)の4名が参加し、今村さんが金メダル、田中くん、永田くん、服部くんがそれぞれ銀メダルを獲得しました。日本は総合成績でも世界7位と、大変優秀な成績をおさめています。今回は、4名の代表生徒の皆さんに大会に参加した感想を自由に書いていただきました。

国際化学オリンピック <http://icho.csj.jp/>

全国高校化学グランプリ <http://gp.csj.jp/>



化学オリンピックに参加して

神戸女学院高等学校3年 今村 麻子



今年の化学オリンピック(以下IChO)は韓国の南部の都市、慶山で行われました。時差がなく、気候も日本と似ていて、過ごしやすかったです。IChOは試験の5時間×2日間を除き、ほとんどが遊ぶ時間で、お祭りのようなものです。去年参加して雰囲気はなんとなくわかっていたので、外国の生徒と喋るのが楽しみで、大会の何週間も前からわくわくしていました。

今年は台風がきて観光の一部が中止になってしまったのですが、その分、外国の参加者の部屋を訪問する時間が増えて楽しかったです。お互いの国の気候や言語、学校制度、生活習慣などももちろん、趣味の話などもしました。なかでも一番楽しかったのはパキスタンの部屋に行った時です。ガイドさんや、サウジアラビアの生徒、タイの生徒も入ってきて、みんなで写真を撮ったり遊んだりしました。試験に向けての勉強ですが、化学会からいただいた本には一年目に目を通していたので、今年は主に自分で買った本を読んでいました。自分に何が不足していて何を勉強すればいいのか考え、目的にあった本を探すというのはとても大変でしたがためになりました。日本はまだ「高校化学グランプリ」(高校生対象の化学の大会で、IChOの代表選考も兼ねる)の参加者が少ないけれど、もっとたくさんの人が気軽に参加すればいいのと思います。試験問題は楽しいものが多いし、結果はどうであれ、参加して得た刺激は日々の勉強に必ず生きてくると思うからです。



化学オリンピックは面白い

開成高等学校2年 田中 成



多分始めまして。いや、日本は暑いですね。韓国は涼しかったですよ？
雨ばかりでしたから(;-)

オリンピックの感想と言われましても、色々なことが300000m/sで駆け抜けていったのであまり覚えてないのですが、最も印象に残ったのは世界の水準です。中国は金4つ、韓国・ロシア・台湾は3つです。日本は過去最高とはいえ金1つ銀3つでした。日本はもっと上を狙えるはずだし、私より化学ができる人間はまだまだ沢山眠っているはず。我こそはと名乗りをあげる人を心待ちにしています。そして2010年には東京で開かれる予定です。自国開催となれば成績は国の威信に関わります。化学と日本が好きなのは(人でなくても)是非。

感想じゃなくて勧誘になりかけましたが、国際化学オリンピックは面白かったですよ？やり応えのある問題が出ましたし、遠足でも色々な所へ行きました。工場見学とか、茶道・音楽・テコンドー、その他諸々の文化体験とか。後、各国の様々な人との交流もしました。面白かったのは、イスラエルの人が、どこかのカンガルーの風船を案内所へ持って行って「彼は病気なんだ、茶色い水を飲まない、治療が必要だ」などと言ったとか(残念ながら私自身は見撃していませんが)。私は「世界には面白い人がいるものだ」などと思いました。兎に角、化学でもそれ以外でも面白い体験ばかりでした。いや、本当ですよ？興味ある方は是非(結局勧誘かよ)。

化学オリンピックでのこと

開成高等学校3年 永田 利明

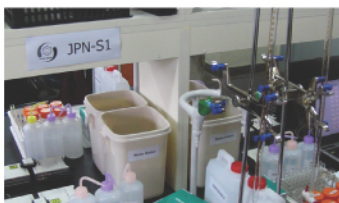


皆さんこんにちは。国際化学オリンピックの第37回台湾大会と第38回韓国大会に出場した永田です。

台湾でも韓国でもオリンピックの10日間のうち初日と最終日は移動、2日目は開会式、4日目は実験試験、6日目は理論試験、9日目は閉会式で、残りは他の国の人たちとの交流に充てることが出来ました。参加している約60ヶ国の全ての人と交流するのは難しいですが、日本化学会が用意してくれたお土産(台湾の時はピンバッチ、韓国の時は分子模型がほぼ参加選手全員分)を配るのを中心に夕方などに他国の選手の部屋を巡って、喋ったり簡単なゲームをしたりしました。時には一部屋に偶然4ヶ国位の選手が集まることもありました。会話は基本的に英語です。みんな英語には苦労しました。外国の選手も英語圏以外の人は苦労していたようです。しかし大抵は英語力より積極性で、ノリが良ければ何とかできます。

化学オリンピックの10日間は夢のように過ぎていきました。というのは、普段出来ないような経験ばかりで、「このままずっとこんな日々が続けば良いのに」と思っても、あっという間に過ぎてしまいました。試験や表彰で緊張したり喜一憂したりしたけど、とても楽しい10日間でした。

日本国内では化学オリンピックの知名度がまだあまり高くないようですが、2010年には東京で開催することになっているし、もうちょっと世間に認知されても良いかなと思います。



運良く得た機会に感謝

筑波大学附属駒場高等学校3年 服部 陽平



楽しかったです。メダルももらえて良かったです。試験のほうはほかの3人に比べて明らかに勉強が足りてなくて、筆記も実験もすごく時間が足りなかったのですが、非常に予想以上の結果です。実際銅で呼ばれなかった時点であきらめていました。

試験以外の時間は観光等にあてられていて、僕は海外は初めてだったのですがガイドのトンファさんが日本人と区別がつかないくらい日本語が上手かったので基本的にどこへ行っても安心でした。ハフェ民俗村が昔の韓国っぽい雰囲気が出ていて一番行ってよかったと思います。外国の人たちとも話したりしたのですが、とはいっても僕が英語で何



か言おうとしても中学で習う文法さえまともな文にならないのですが意外と伝わります。どちらかという相手の言っていることが聞き取れないのが辛かったです。そういえば時々日本語を少ししゃべれる人がいて嬉しかったので僕は第2外国語を欲しくなりました。夜とか空いている時間はほかの国の部屋に、日本からのお土産を配りにまわっているとよく部屋に入れてくれたりして、互いの国のこととかについて話しました。具体的な国名を挙げるとパキスタン、ギリシャ、ブラジル、イスラエル、イラン、インド、カザフスタン、リトアニアとかほかにもいろいろな国の人たちと話しました。科学者というのは日本だけではなく、世界でやっていくというのを実感できたと思います。

**2010年には日本での開催が決定しています！
まずは「全国高校化学グランプリ」に挑戦しよう!!**

